

2023年9月22日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人 市民の学習・活動・交流センター シビル

役職名 代表理事 氏名 福田恵一

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

シビル市民講座 映画監督早川由美子のワークショップ あなたもできる! ~3分間映像講座~

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1976年立川駅南口に須田学習塾を設立し運営するかたわら、地域における教育・文化活動に力を注ぎたいと考えようになりました。2002年須田塾の施設を使いカルチャーステーション・アクティブ立川を開設。2003年ビルを買い取り、任意団体シビルを設立。2009年「一般社団法人 市民の学習・活動・交流センター シビル」を登記・発足。会員数団体・個人約110名

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

<背景・目的>ビデオカメラやデジカメは、誰でも手軽に使える道具です。インターネットで動画を観ることも、特別なことはありません。自分で撮影したものを編集したり、ネットで公開したりできれば楽しいでしょうが、ハードルがあります。初心者が自分で撮影・編集・公開出来るまで、その技術を習得すること。そして地域に根ざした発信者の育成を目指します。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①カメラ・三脚など機材の使い方 ②撮影の基本(実習) ③企画の立て方 ④編集ソフトの使い方(実習) ⑤YouTubeなどの動画の公開方法と注意点(実習) ⑥課題作品の撮影・編集 ⑦課題作品の完成披露上映・講評

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

①全8回の教室での講義、課外実習(立教大学共生社会研究センター)の実施。3箇所の取材先へのグループ取材をした後、各自自分の作品を完成させることができました。毎回10名から14名ほど(延べ約100名)の参加があり、大好評でした。②ほとんどの方が初めて映像制作に取り組みましたが、全員個性ある作品を完成させることができました。③市民目線の報道が少ないなか、市民による市民のための発信が増えていくことを願っています。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

映像制作は技術もさることながら、何を撮り、どう編集し、何を発信するか?という紙の上での作業が大半を占めます。とはいえ、慣れない編集ソフトに四苦八苦した受講生も多かったので、まずは慣れること。そして、お互いに励まし合いながら作品を完成させたように、これからも、助け合って情報交換してゆく場を提供してゆきたい。

## 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください

